

ご挨拶



第79回日本公衆衛生学会総会（2020）

学会長 今中雄一

京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野 教授

京都大学 超高齢社会デザイン価値創造ユニット ユニット長

2020年10月20日（火）から22日（木）に、京都にて（「みやこめっせ」京都市勧業館）第79回日本公衆衛生学会総会（2020）を開催させていただくことになりました。

本学会総会2020のテーマは、

「健康・医療・介護の未来づくり：Social Joint Venture（社会的協働）」

と設定いたしました。未曾有の超少子超高齢社会のもと、健康寿命延伸、全世代にとっての安全で安心な社会の実現のために、自治体・国、産業界、アカデミア、研究教育機関、保健・医療・介護の専門職、地域の人々等の横断的な協働が必要です。本学会総会が、当テーマを旗印に、最前線、最先端の健康医療介護に関する政策・実践・研究について、活発な議論の場、協働の場、一層の推進を図る場となりますように準備を進めて参ります。

皆さんご存知の通り、当学会の学会総会は以下の特徴を持っています。

- 全国から多士済々の公衆衛生関係者（行政、大学、職域、地域、保健医療介護現場等）が大規模に集まり、運動、栄養、休養から医療、介護まで広い健康課題がワンストップで扱われます。
- そこでは、新たな動き、異なる考えをキャッチするなど、自らの仕事の展開への大きな刺激やヒントが得られます。貴重な人的ネットワークも得られます。
- 現場の工夫や実践活動、制度・政策の流れ、最前線・最先端のテーマも数多く発表され、活発に議論されます。
- エビデンスやツールを使う実践家、その創出・開発に携わる研究者、政策づくりの担い手が、インタラクトする場となります。
- 長年の大規模コホート研究や重要なエビデンスの創出がなされ、ビッグデータ、データサイエンス、AI活用も熱いテーマとなっています。
- 医療、介護のシステム、サービスや政策の研究も、非常に強化されてきています。高度な研究・開発も競うように発展してきています。
- 産・官・学・民共同や健康“まちづくり”へのアプローチには、実践・展開の実績と基盤があります。

本学会総会に参加される皆様にとって少しでも有意義な機会となりますように、役員、実行委員、学術部会員、事務局、そして御関係の方々の力を結集して、鋭意準備を進めております。また、プロフェッショナルな活動に専念された後やその合間には、京都の食、文化、風情を存分にご堪能ください。

本学会総会へのご参加を心からお待ち申し上げます。

第79回日本公衆衛生学会総会（京都）ご案内〈第一報〉

1. 会 期
2020年10月20日（火）～10月22日（木）
2. 会 場
みやこめっせ [京都市勧業館]（京都府京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1）
3. 名誉学会長・名誉顧問・学会長・副学会長・顧問・監事
名誉学会長 西脇隆俊（京都府知事）
名誉顧問 門川大作（京都市長）
学会長 今中雄一（京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野 教授）
副学会長 松井道宣（一般社団法人 京都府医師会 会長）
松村淳子（京都府 健康福祉部 部長）
山田典子（京都市 保健福祉局 医務担当局長 京都市保健所長）
顧問 山極壽一（京都大学 総長）
監事 福井敏行（京都府 健康福祉部 健康福祉総務課 参事）
塩山晃弘（京都市 保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課長）
4. メインテーマ
健康・医療・介護の未来づくり：Social Joint Venture（社会的協働）
5. プログラム（予定）
学会長講演，特別講演，公開講座，教育講演，シンポジウム，奨励賞等受賞講演，一般演題，国際セッション，感染症リスクアセスメント研修会，ランチョンセミナー，自由集会，意見交換会，各種展示
6. 学会総会ホームページ
<http://jsph2020.umin.jp/>
7. 事務局
事務局（実行委員会・学術部会含む）：
京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療経済学分野内
運営事務局：株式会社コンベンションリンクージ内
〒604-8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634
TEL：075-231-6357 FAX：075-231-6354
E-mail: jsph79@c-linkage.co.jp
8. 各種申込期間
公募シンポジウム募集期間 2020年3月10日（火）～4月10日（金）
演題募集期間 2020年4月1日（水）～5月29日（金）
抄録集事前申込（参加登録） 2020年4月1日（水）～8月31日（月）
9. 今後の情報
日本公衆衛生雑誌第67巻第2号および学会総会ホームページ(上記)で順次お知らせ致します。